

平成 30 年度 精神保健福祉部会 記録

平成 30 年 7 月 20 日 (金)

午前 9 時～9 時 50 分まで

リハセンター2F、AV 会議室

進行:遠藤部会長

- ・ 進行表の確認

(1) 情報提供・PR について

- ・ 本日からピアの立場として 2 名が部会に参加して下さった。
- ・ 会議は平等の中ピアの方にも自由に発言をして欲しい。
- ・ 四国学院大学の島影先生がポジティブリスニングについて話をしてくれた。
- ・ ピアの居場所:放送局の取材を受けるかどうか検討している。どのように対応するか、話し合いながら決めていっている。シンポジウムや作った DVD の使用方法について話し合っている。
- ・ 基幹支援センター 対象者は在宅の精神の方々が多い。
- ・ 作った DVD は一般の方、看護学生に見せて良いのか?それぞれのケースで検討が必要になる。
- ・ 大西病院:スタッフに DVD を見てもらったら、病院内プログラム対象者に見てもらおうなどの意見が出た。
- ・ 三光病院:退院支援のグループの人たちが食い入るように見ていた。ピアサポーターって何?制度が分かりにくい等の話題が出た。病棟のスタッフに見てもらった。

(2) 30年度 部会の取組みについて

①GSV や事例検討を通じて地域の課題を集約する。

- ・ 前回 7月2日(月)、場所:高松市社協 参加者:11名
(報告)前向きになれた。訪問看護等のサービスを検討したい。その人の強みを本当に理解しているのかの自問自答につながった。
- ・ 次回 8月22日(水)14時30分～15時30分、竜雲メンタルクリニックにて
内容:基幹での新しいケースについて

②ピアサポーターとの共同企画の研修について(支援者の連携や理解を深める研修)

- ・ シンポジウムを昨年のような形でしただけでは?
- ・ 居場所の人たちから「昨年のようなものはしないのですか?」と言われている。
- ・ シンポジウムに「ピアサポーターとは?」を入れてはどうか?
- ・ ピアの人たちからも「支援者に言いたいこと」はあると思う。
- ・ 医療と福祉の交流プレゼンを事業所の方から「しないのですか?」という意見あり。

(3) スーパーバイザー派遣について

- ・ 中讃東圏域の自立支援協議会からの依頼。高松圏域の「退院促進の取組み」等の勉強がしたい。

- ・ 綾川町方面で障害福祉サービスを取り組み始めた事業所があり、「精神の方の悩み」がある。派遣事業を利用すればモチベーションが上がるだろう。
- ・ ヘルパーは、精神障がい者支援を行うにあたり、常に困り感がある。